

工事現場の壁に展示された京都市立
芸術大生の絵(京都市中京区)



御池の絵 工事現場彩る

京都市中京区丸太町七本松角の建設工事現場の囲い壁に、市立芸術大デザイン科の学生たちが御池通をテーマに描いた色とりどりの絵を展示し、通行人の目を楽しませている。

学生らは昨年末、御池通周辺の歴史や文化を取材した。そのイメージを基に、壬生狂言や京町家の風景な

中京 市立芸大生が作品展示

ど31点の絵を制作した。

囲い壁(全長約700㍎)は洛和会丸太町病院の新築移転工事で使われている。展示作品は絵を複写した縮小版。作品の横には、制作した学生の説明書きが添えられている。壁が撤去される予定の9月末ごろまで楽しむ。

(大西幹子)